

特231

878

日本生命保険株式會社

社長 弘世助太郎氏講演

歐米視察の旅より歸りて 其一

(昭和八年十二月六日
於生命保險會社協會)



0000802000

0000802-000

特231-878

歐米視察の旅より歸りて

弘世助太郎・〔述〕

生命保險研究所

其1

昭和9

AAB

特 231
878

歐米視察の旅より歸りて

(昭和八年十二月六日
於生命保險會社協會)

先月の二十七日、私が七ヶ月の歐米視察旅行を終へて歸國致しましたに就て、本日は歡迎の御盛宴を御開き下さいまして、身に餘る光榮と存じ、厚く御禮申上げる次第であります。就ては何か見て來たことのお話をする様にとの事ではありますが、何分暫く留守にして居りました爲めに歸國後早急に處理を要する案件等もあり、歸朝早々之等の用務に忙殺されて十分に考へを纏める暇もない様な次第で、本夕は只私の目に映じましたアメリカ或は獨逸、英國等に於ける生命保險事業の情況を頭に浮んで参ります儘に極く斷片的に申上げて責を塞がせて頂きたいと思ひます。

本年の四月二十日に横濱を出帆しまして先づ亞米利加に向つたのでありますが、桑港上陸後、ヨセミテ、グラント・キヤニオンの二大國立公園の視察を兼ね、ロサンゼルス、シカゴを経て紐育に到着いたのが五月十九日であつたと思ひます。紐育ではメトロポリタン、紐育



生命の二社、又ハートフォードでは御承知の生保販賣研究所 (Life Insurance Sales Research Bureau) にホルコム氏を訪ね、序でにエトナ生命の新建築を見て参りました。

アメリカの生命保険事業に就ては、其保有契約高が民間生命保険會社だけで一千億弗を越え、之れに賦課式保險會社、同胞組合の契約高並に國立保險の契約高を加へて一千二百億弗に近いものがある世界第一の保險國と云ふ豫備知識を持つて参つたのでありますが、成程規模の大きい事は問題にならぬとしても、其の内容に亘つて觀察しますれば、新契約は団体、普通、簡易保險等凡ての種類を通じて減少を示して居ります。又昨年度の新契約高は一昨年度に比して一割八分の減少でありましたが、本年上半期の業績は尙一層惡化の様相であります。之に對して他方、解約失効率は最近五ヶ年間漸増の傾向にあつて、どう見ても健全な發展振とは申されない状態であると思はれます。更に資産内容の惡化は相當甚しい模様ですが各會社共此の點に觸れる事を好まず、色々尋ねて見ましても、何れも極めて不透明な解答を與へるに過ぎなかつたのであります。資産内容惡化は、米國財界未曾有の不況に基く保有資産の甚しい値下り並に貸付金の回収不能等が原因であります。此の外に解約並に保險證券擔保貸付の激増が現金の大流出を生み、手許資金の逼迫となつて資産の惡化を齎した事例も

乏しくないであります。本年二月銀行の取付から臨時休業となりました時保險界では保險證券擔保貸付及解約請求の激増となつて現れ、中西部の小會社等は遂に例の復興金融會社から資金の融通を受ける様な破目に立ち到つた次第であります。そこで政府は保險監督官に保險恐慌に處する絶對權を與へ、各州の保險監督官は恐慌非常時對策として保險證券擔保貸付並に解約の請求を禁じ、州により會社に依つては加入者配當金の分配さへも制限されることになつたのであります。然し此の恐慌にも二三會社の不始末を見たのみで、今日では制限令も殆んど撤廢され先づ安全に切抜けた模様であります。其の結果は資産投資の上に從來の方針を變更して換金性に富む物件への投資を多からしめること、なりました。即ち從來比較的閑却せられて居た國債、地方債への投資が最近目立つて増加して來たのですが、御承知の如くアメリカに於ける公債の利廻は甚だ低いにも拘らず、換金性と確實性の二點から此の方面への投資が増加した事は、アメリカ現時の不安なる經濟相を反映する面白い現象であると共に、投資利廻の低下は利差益の減少となつて遂に加入者配當率の引下げを餘儀なくせしめた事はアメリカ生保界の前途に幾許かの暗影を投ずるものでありませう。アメリカ生保界今日の窮境は、保險の投資としての有利性とか、證券擔保貸付の非常資金としての有用性とか

の保險本來の使命とは比較的関係の薄い方面が餘りに強調せられた結果であると申されて居りますが、全く其の通りであると思はれます。殊に近時の解約乃至貸付金は必ずしも財界の不況による加入者の資金需要に基くものばかりではなく、其の一部はアメリカの金本位制離脱によつて拍車をかけられた株式投機熱に浮かされた加入者が投機資金として利用する爲めのものであると推察せられますので前途必ずしも樂觀を許さぬ状態にあると考へます。併し乍ら、又反面から之を考へて見ますれば、アメリカの生命保險業者が過去三ヶ年に互る恐慌の波を乗り切つて來た事は生保事業に對する民衆の信頼を一層高める結果となつたに違ひないのであります。

斯様な次第で、資産運用の方面は勿論の事、其他の方面に於きましても我國の生命保險事業がアメリカのそれに比較して何等遜色がない許りでなく、反つて勝れる點の尠くないことを知つて誠に愉快に感じたのであります。只アメリカの會社では、事務管理殊に事務用機械器具類の應用が進んでゐて、多量の事務を迅速正確に處理して居りますこと、事務所建築の様式等に就ては色々参考とすべき點を認めました。

紐育では先年こちらへも見えましたヒュブナー教授が態々來訪せられて、種々意見の交換

を行つたのであります。外務教育の問題に就ては先生も熱心に所信を述べられ、生命保險の經營的方面殊に直接營業に關與する人士の資格向上を目的とする C・L・U 運動を是非共に日本にも及ぼしたいと云ふ意味で、C・L・U 資格檢定を行ふ生命保險外務大學 (American College of Life Underwriters) の顧問となる事を私に依頼せられたので、我國生命保險事業の健全なる發達を期する上から私もかね／＼外務教育の重要性を力説してゐた關係もあり、C・L・U 試験の内容が營に保險外務に直接關係あるものに必要なばかりでなく、保險の經營的方面全般に互つてゐて、數理方面を主とするアクチュアリー試験と並んで非常に有意義なものであると認めました結果、快く顧問の申出を受けた様な次第であります。この問題に就きましては目下係りの者に日本文パンフレットを作らせて居りますので近い内に具體的の事柄をお知らせする手筈になつて居ります。

亞米利加の事はこれ位にして置きまして歐洲での見聞を二三申上げますと、紐育を出帆したのが六月二十五日の未明で七月一日の早朝に獨逸のブレーメン港へ着きました。七月の六日から十日間伯林に滞在して其間アリアンツ生命を訪問したり、又七月の十七日にはゴータ市にゴータ生命を訪れ種々獨逸業界最近の事情等に就て聞く事を得ました。

獨逸では私が平素國際親善關係殊に日獨文化の交換に多少盡力して居ります關係から、意外の好遇を受けまして、ナチスの示威運動が仲々猛烈を極めて居る最中ではありましたが聊かの不安もなく、十分に視察の目的を果す事が出来た様な次第であります。

ヒトラーの政權樹立が同國の生命保險事業に如何なる影響を與へるかは誠に興味ある問題であります。ナチスの政策として馬克の安定に必死の努力を拂ふ旨の聲明は、永年馬克の不安定に事業の基礎を脅かされて來た獨逸生保業者に取つては誠に心強く響いた事であらうと思はれます。新政府の金利政策が不自然な強制的引下を不可とする方針であることも、急激な金利の變動を喜ばぬ生保業者に迎へられた事は申す迄もないのであります。ヒトラーが私的經濟の保護を政策の一部として掲げて居る事は、政府に生命保險の獨占國營の意圖なき事を明かにするものと解せられ、民間保險業者に明るい感じを與へて居ります。又本年の七月初頭アリアンツ生命の社長シュミット氏が經濟大臣の椅子に着いた事も將來保險事業に對する政府の理解を深める意味に於て生保業者からは一般に好感を以て迎へられた様であります。過去に於て幾多深刻なる經濟恐慌に打克つて、二百億馬克に近い現在契約高を有する所迄漕ぎ付けて來た獨逸の民間生保業者はヒトラー新政府の成立にも何等災せらるゝ事なく寧

ろ政府の方針に信賴して勇躍前進を續けて居る現状であります。獨逸の生命保險現在契約高が官民併せて約貳百拾壹億馬克であることは、之を平價で換算して我が國の昭和七年末の總契約高百拾貳億圓と伯仲することゝなりますので、私がゴータ生命を訪れました時、同社のアクチュアリーであるアンドレー氏に此の話をして「貴國は正に世界第三位の保險國である、日本の地位を覆す處まで來た」と申しました處、アンドレー氏は馬克の平價換算には不服の模様で、「爲替相場によつて換算して頂きたい」と云ふ様な話になり、更に轉じて「金の輸出禁止下にある貴國では保險契約高の増減を金圓ゴールドマルクに換算してこそ正しい判斷が出来る」と主張せられるので、私も、「問題となるのは圓の購買力で、金本位離脱後も圓の購買力に甚しい變化が認められぬ以上は、紙幣圓を基準にして判斷をしても決して誤りでない」と反駁する等仲々議論に花を咲かせた様な次第でありました。

獨逸からチェッコ、奧地利、ハンガリー等を経まして瑞西のチューリツヒに参りましたのが八月の六日で、こゝではユニオン再保險會社に支配人のグリス・ハーバー博士を訪ねて、博士が先年日本へ來朝せられた際の懷舊談や再保險問題に就て談を交へ、八日の午後、博士其他二三の同市生保會社幹部の案内で途中鐘乳洞を見物したり等致しまして、夕刻ルツサー

ンへ参りました。

瑞西から再び獨逸に入り、白耳義、和蘭を経て倫敦へ到着したのが八月の二十九日でありました。英國ではスコットランド方面への自動車旅行に相當日子を費したのと、地方の大地主から招待されて英國の田舎の状況を見るためにと云ふので其宅を訪問したり等致しまして比較的倫敦滞在の時日が少く、保險會社もブルーデンシヤル社を訪ねたのみでありましたが同社は御承知の通り英國でも斷然頭角を抜いた優秀會社でありますから會社見學の意味は十分達せられたと思つて居ります。英國の生保會社も近頃は事務組織等全くアメリカ化して居りました、英國製の事務用機械器具等にはアメリカとは違つたよいものもありました。英國で再保險關係の事を多少調査して見ましたがミュンヘンの再保險會社等と提携して居る會社は少いらしく、ブルーデンシヤル其他の有力なる内國會社間で再保險の取引が行はれて居るとの事でありました。英國は一九三一年九月の金本位制離脱以來利息收入の減退と有價證券の崩落に悩まされ、各保險會社共加入者配當の引下げを餘儀なくされた結果營業上相當の打撃を受けた模様であります、ブルーデンシヤルの如き優秀會社には比較的影響が少く、堂々たる業績を示して居ります。

英國から佛蘭西に渡り、西班牙、伊太利等を経て十月二十八日ナポリから日本郵船の照國丸に便乗し、先月の二十七日に神戸へ上陸致しましたが、横濱出帆以來七ヶ月餘此間に訪れました國の数が大小合せて十九に上つて居りましたには我ながら忙しい旅であつたと思つた次第であります。

さて此大小十九ヶ國の自然と風物とに觸れて参りました私の經驗を靜かに回想して見まして、私は結局我が日本の國が自然に於ても亦文化に於ても世界中に最も優れたる國であるとの結論に到達したのであります。(終)

昭和九年三月廿七日印刷
昭和九年四月一日發行

〔非賣品〕

大阪市住吉區天神森二丁目二

編輯兼發行人 佐伯 愿 一

印刷人 小倉 新太郎

大阪市西區江戸堀南通一丁目四一

印刷所 林 歐文堂

大阪市東區高麗橋筋二丁目八番地

發行所 生命保險研究所

6
2